

小貫政之助 作品展

時代の宿命と理想のフォルムの探求者

ONU
KI
MASA

1925-
1988



2014年7月19日(土) - 8月17日(日) 入場無料

■休館日/月曜日(祝日の場合翌日) ■開館時間/10:00-18:00(入館は17:30まで)

主催/伊丹市立工芸センター【公益財団法人伊丹市文化振興財団・伊丹市】

伊丹市立工芸センター

〒664-0895 兵庫県伊丹市宮ノ前2-5-28
TEL: 072-772-6557 FAX: 072-772-6558

大正14年(1925)東京に生まれた小貫は14歳の時、本郷の岡田三郎助美術研究所に入所し、画家を志します。

青年時代にはフォービズム調の強いタッチで自画像や工場風景を描きますが、“創作活動とは本来、孤独な精神作業にほかならない”と考え、そのころから永遠のテーマとして「女体」を描くようになっていきました。モノクロームに近い色彩と鋭い描線で描かれた女体には鬼気迫るものがあり、観る人を魅了してやみません。

本展覧会では、彼のあらゆる角度の作品、約25点を展示致します。昭和の時代を画業だけで生きた孤高の画家のエネルギーを体験してもらいたいと思います。



小貫政之助

- 1925年 東京・京橋に生まれる
- 1939年 本郷岡田三郎助美術研究所入所
- 1949年 現代美術展会員努力賞受賞
- 1978年 小貫政之助銅板画集〈小世界〉
フジテレビギャラリーより出版
- 1988年 6月3日死去 享年 63年
- 1989年 「小貫政之助の世界展」池田20世紀美術館
- 1992年 「小貫政之助作品集-業と魔性のポエジー」が出版される
「小貫政之助展」新宿・小田急ランドギャラリー



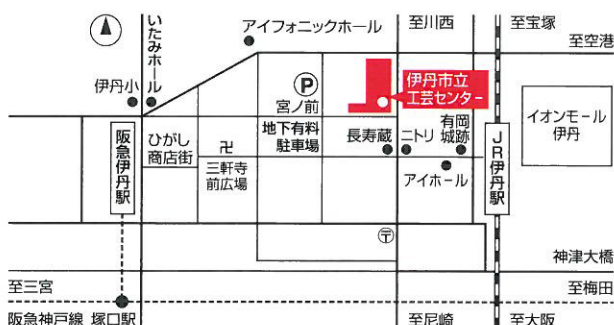
黒岩重吾と小貫政之助

大阪生まれの直木賞作家、黒岩重吾の小説の装画を多く描き、その多彩な才能を広く世に表してきました。

私が小貫政之助の絵に惹かれたのは、約10年前に、氏の絵を私の本の装画に拝借した時である。何の背景もなく、女の裸像を淡彩な薄墨色で、無造作に描いた絵であったが、私はその絵に衝撃を受けた。その一枚の裸像には、女の美、恐怖、悲哀、醜悪、宿命、業といったものが、渾然一体となって凝縮されていたからである。

氏はよく女を描かれるが、決して、女を一面的に描かない。そして、女人像には、思わず息を呑むほど神秘的なものもある。そういう絵を観ると私は、厳しい創作精神と表裏一体となった人間的ロマンをも、氏に強く感じるのである。

(版画集「小世界」1978年刊より抜粋)



伊丹市立工芸センター The Museum of Arts & Crafts・ITAMI

〒664-0895 兵庫県伊丹市宮ノ前2-5-28
TEL: 072-772-5557 FAX: 072-772-5558
HP : <http://mac-itami.com>
主催 伊丹市立工芸センター
[公益財団法人伊丹市文化振興財団・伊丹市]

■阪急 神戸線塚口駅乗り換え 伊丹線伊丹駅下車 北東へ徒歩約9分
■JR 宝塚線伊丹駅下車 北西へ徒歩約6分
※駐車場はございませんので、宮ノ前地下駐車場(有料)をご利用ください